

本町の財政状況について

本町の財政状況を自分たちの家計にたとえてみると・・・

◆一般財源（町が自由に何でも使えるお金）が減っています。

毎月の給料が減るといふことで、やりくりしようとするとか、借金をするか貯金を下ろすとか、支出を切り詰めるかとなります。

◆経常収支比率が高くなっています。

食費、光熱水費、ローンなど毎月必ず必要な生活費の割合はいくらかということですが、逆にいえば自由に使えるお金がいくら残るかということになります。

◆公債費（借入金の返済金）が急激に増えています。

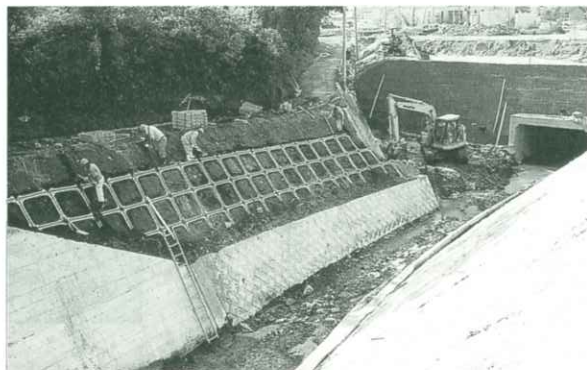
住宅ローン、自動車ローンなどの返済金にあたります。

※このように、収入が減る一方で、借入金の返済金などが急に増えてきているため、不足財源を貯金（基金）の取り崩しで対応してきましたが、貯金にも限りがあるため、全般を見直す必要があります。

写真で見るまちづくり

町では、「躍動する希望のまちづくり」のために、いろいろな事業に取り組んでいます。その中のいくつかを紹介します。

●統合準用河川改修事業（東谷川）



●学校給食センター整備事業



●東谷住宅線道路整備事業



●基本健康診査

特別会計予算の執行状況

（単位：千円、％）

特 別 会 計	予 算	収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険事業	2,062,592	947,933	46.0	808,059	39.2
老人保健医療	3,198,098	1,513,670	47.3	1,373,337	42.9
簡易水道事業	99,787	112,385	112.6	39,236	39.3
農業集落排水事業	73,369	39,038	53.2	33,800	46.1
介護保険事業	1,527,027	722,297	47.3	598,453	39.2